

もったいないから
ありがとう



ANNUAL REPORT

5期 / 2020.12.1~2021.11.30

認定NPO法人
セカンドハーベスト 京都



TEL : 075-601-2100 E-mail : info@2hkyoto.org
 ■Head office 京都市伏見区桃山町丹後 18-15 7号ビル3F (〒612-8018)
 ■Stock yard 京都府宇治市横島町中川原 125 大倉産業株式会社物流倉庫内 (〒611-0041)

認定NPO法人
セカンドハーベスト 京都



数字で見る 2HK



ごあいさつ

セカンドハーベスタブ東京は2015年の設立から6年目を迎えました。

設立当初、団体に必要なものとして、

1. 団体の認定NPO法人化
2. スタッフ常駐事務所の設置
3. 職員の採用

の3つを望んでいきましたが2021年中に、おかげさまですべての条件を揃えることができました。

ご支援、ご協力頂きました皆様には心より感謝申し上げます。

セカンドハーベスタブ東京もようやく、草創期を越え成長期に入っております。これは、「もっと多くの支援の必要な方々へ」支援を届けられる力をつけていくことを意味しており、また、食品ロス削減の波を拡大していくことにもつながっていくと信じております。

昨年は災害級の感染症で多くの人がダメージを受けるなか私どもへの社会的ニーズは更に大きくなっていくことを実感した1年でもありました。

食のセーフティネット、経済的理由などにより食に困る人がなくなる仕組みを京都市内に創っていく、との初心を忘れずに歩んで参りますので、引き続きご支援ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶とさせていただきます。

2021年12月吉日

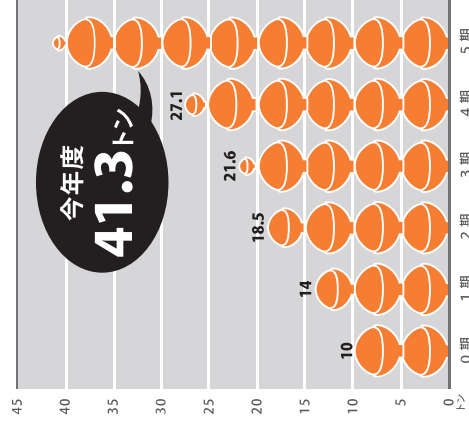
澤田 政明



認定NPO法人 セカンドハーベスタブ東京
理事長 澤田 政明

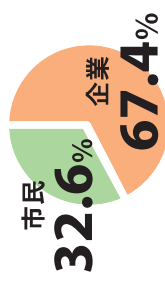
認定NPO法人セカンドハーベスタブ東京は、2015年の団体設立から6年が経ちました。支援をしてくださる皆さんのおかげで活動の幅を広げました。

取扱食品量



みなさんの支援のお陰で活動の範囲も広がり、取り扱い食品量も増えてきています。

寄贈食品の内訳



寄贈団体数



承諾書締結(提供)団体数



アクティブボランティア数



「まだ食べられるのに捨てられる」食品ロスは、年間570万トン。京都市だけでも13万~15万トン。

一方で、日々の食事が十分でない人たちがいます。



活動

から見る 2HK



もったいないからありがとうへ
必要としている人のもとに食べ物を届ける

フードバンク団体である、認定NPO法人セカンドハーバースト京都の活動内容です

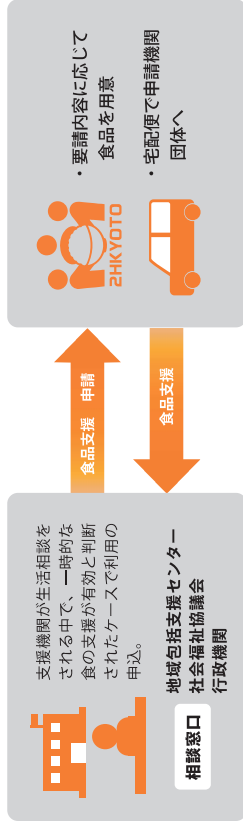
フードバンク事業 毎週2回

企業や市民から未利用の食品の寄贈を受け、福祉施設やフードパントリー運営団体にお届けします。



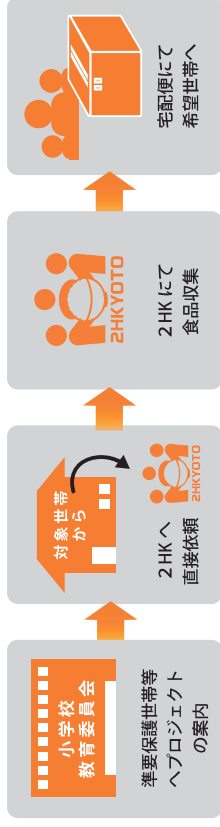
食のセーフティネット事業 要請毎に随時

福祉事務所や社会福祉協議会などからの要請で生活に困窮されている方々への食品をご用意します。



こども支援プロジェクト 年3回

夏休みなどの長期休暇、希望された就学援助受給世帯に食品を宅配便で届けます。
(学区限定)



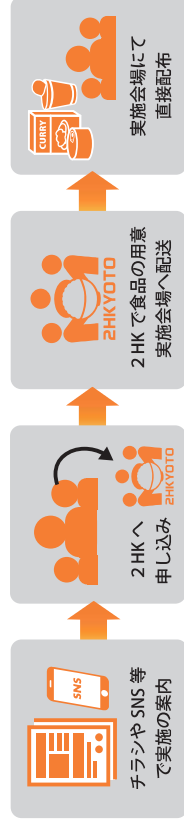
食品ロス削減啓発事業 要請毎に随時

「食品ロス削減のための出前授業」を
小中学校をはじめ地域団体に対して
実施しています。



フードパントリー事業 毎月1回

新型コロナウイルスの影響下で生活困窮されている方々のために府内3箇所
申込のあった個人に、直接食品をお渡ししています。





デリバリーチーム
delivery

食品を福祉施設や生活困窮者支援団体にお届けするほか、
規格外野菜の定期集荷も行っています。

京都府、大阪府、滋賀県の57団体の延べ22,876人に
(フードバンク団体への提供は除く) 食品をお届けしました。



走行距離 (年間)
10,897 km

2021年11月19日
京都新聞



ご家庭の未利用食品を各所に設置したフードボックス
(食品寄贈用ケース)で集めます。

京都生活協同組合様、株式会社オムロンヘルスケアアア様、
ローソン様など企業団体でのフードドライブの協力先もSDGsの
取組の一環という位置づけで増加しております。
また大学や小学校などでも取り組んで頂いております。

実施件数 (年間) 173件 寄贈総量 (年間) 5,413kg



食材を集める お届けする

たくさんの方々の愛と想いに支えられています



実施後の声



途方に暮れていたのでも、インターフォンが鳴った時、「助かったー」と真剣に思いました。

今年は、おもちを買えない正月でしたが、箱の中に入っていたおもちに家族全員が大喜びでした。いつも助けてくださり感謝しています。

仕事を辞めざるを得なくなり困っていましたが、支援が届き、子どもと「何とかかなりそうだね」と話していました。

子どもが火を使わずに調理できるものや、缶詰めなども多く、親の留守中にも食べられるので助かりました。

給食がない休み中が不安・・・
そんな家庭を少しでも減らしたいから



「夏休み明けに瘦せて登校してくる子供がいる。」
学校の先生のお話を伺ったのがきっかけで2HKKは西日本で初めて、教育委員会や学校の協力を得て、学校給食のない長期休暇中に就学援助受給世帯のうち希望する世帯に宅配便で食品を届ける取り組みを始めました。
長期休暇中「お腹が空いてツツライ」という子どもを一人でも減らすために対象地域も更に拡大してまいります。

合計支援人数
5,126人
(子ども 3,009人)

- 対象区域
京都市12小学校区 / 宇治市4小学校区 / 八幡市8小学校区
- 冬休み向け (2020年12月)
出荷件数: 393世帯 支援対象の子ども的人数: 900人
- 春休み向け (2021年3月)
出荷件数: 391世帯 支援対象の子ども的人数: 898人
- 夏休み向け (2021年7月)
出荷件数: 529世帯 支援対象の子ども的人数: 1,211人



2021年7月18日
京都新聞



どのアンケートからも、こどもの成長を願う切実な思いが伝わってきました。
子育て中は、パート勤務になることが多いですが、今回の新型コロナウイルスの影響は測り切れない切実に感じました。
本プロジェクトは、食の支援だけでなく、「ひとりではない」という繋がりの一ひつになる役割も担っています。
年3回ではありますが、少しでも多くの人々の生活不安解消に寄与していきたいと考えています。





FOOD PANTRY フードパントリー

新型コロナウイルスの影響で 経済的に困りの方々に
食品を直接お渡ししています



新型コロナウイルスの影響等で生活に困窮する方が増加して
いる中、当時、府内に有力なフードパントリー団体が増加した
ということもあり 2 H K が協力団体と一緒に府内3箇所です毎月
実施しています。

実施回数 述べ21回
配布人数 451世帯 (930人)

■ 共催

一般社団法人 MUSTARD SEED クリスチャン教会京都様 (中央区)
認定特定非営利活動法人 happiness 様 (南区)
ひろのこども食堂様 (宇治市)

■ 協力

宇治ボランティア活動センター様 (宇治市)



2021年2月28日 京都新聞

アルバイトがなくなり収入が
減った一方就活の出費ががさ
で苦しんでいます。今回支援を
頂いたことでこの苦しみが軽
くなったと感じています。

女の子が2人いるので、生理用品
が助かりました。歯磨き粉など
もすごく嬉しいです。大変な中
ありますがありがとうございます。

失業後社会人学生になり、資格
取得を目指しています。私自身
貯金を切り崩す日々で不安ですが、
留学生の皆さんは母国に帰れず
アルバイトも制限されとても
苦しそうです。

食事もまかないが主だったため、
シフトと共に食事も失ってしま
って途方に暮れていました。
本当に助かりました。

実施後の声



東京で毎週実施されていたフードパントリーでは、若い人に加え経営者層も並んでおられたり
しているのが、リーマンショックの時の違いらしく、また、回を重ねるごとに列にならな
らぶ人が増加しているという報道に接し、2月より実施しました。当初はアルバイト先でシフトを削
られたり、休業になったりということでも一人暮らしの学生さんがほとんど、という時
もございました。

今後は経済的に苦しい方々全般を対象として、可能な限り継続してまいります。





食のセーフティネット

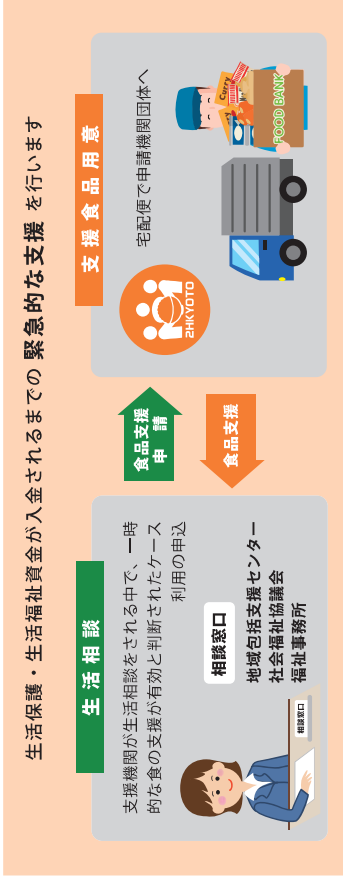
食品支援を通して支援機関が関係性を構築され
 利用者の孤立を防止し
 明日、食べるものがないという状況にある人々を支えるために



福祉事務所や社会福祉協議会などで生活相談を受けられた方の中には、その段階でお金も食べ物もほとんどない状態で見られる場合があります。

そのような状態の場合、生活保護や生活福祉資金の入金までの期間を過ぎて頂く緊急的な支援として2HKは支援機関の要請を受け食品をお届けします。

要請件数 80件
 対象人数 265人



正直、めっちゃ助けがありました。友人で困っている人がいたら絶対に教えてあげたいと思います。

箱の中ものぞきながら、「お母さん、これどうしたの!？」と言った子どもの輝いた目を忘れることができません。今回の支援に感謝し、またがんばろうと思います。

母子家庭のうえ、子ども2人が障害を持っていて、なかなか長時間働きに出ることが出来ません。コロナで更に仕事が減り、とても困っていたので助かりました。

実施後の声

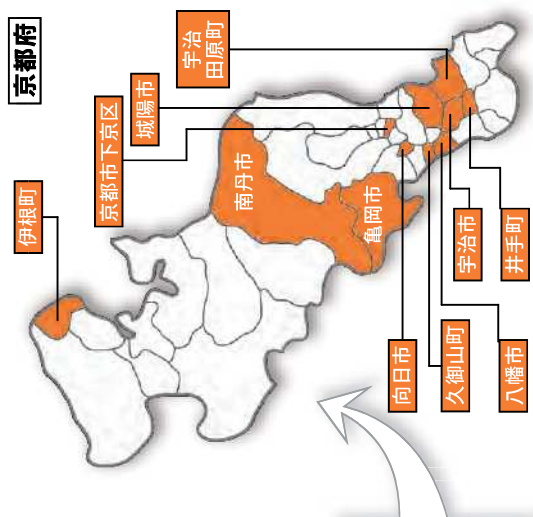


今期は新型コロナウイルスの影響を受けた利用者が多い一方で、自治体によっては「生活資金貸付」や「住居確保給付金」制度などの利用で食の支援には至らなかったケースが増加し、全体としては微増に留まりました。

現在の対象区域

府内26自治体のうちカバーできているのは11行政地域で、それ以外からの支援要請が入った際にアウトリーチの手段がないため支援が届けられない状況にあります。長らく課題であった京都市でも2022年早々からスタートすることになり、食のセーフティネット事業も大きく前進します。

現在カバーできている行政地域	
伊根町	南丹市
向日市	久御山町
宇治市	城陽市
宇治田原町	京都市下京区
亀岡市	八幡市
八幡市	井手町





食品ロス削減事業〔出前授業〕

まずは、知ること。そして、周りの人に伝えること
 少しずつでも、「食品ロス削減」の輪が広がるように



食品ロス問題・環境問題・貧困問題・SDGsなどの様々な問題は、つながりがあります。フードバンク活動をしている2HKだからこそ伝えられる思いがあります。今自分にできることを一緒に考える機会になることを願っています。

2021/01	京都市立 京北小学校	6年生
2021/06	京都市立 待鳳小学校	5年生
2021/06	京都市立 鞍馬小学校	
2021/08	京都府の会西山方面	夏の勉強会

2019年10月の授業開始から、計9校・21クラス、計8団体で実施いたしました。食品ロス削減の輪を拡げるため、より多くの皆さんに受講して頂けるよう体制を整えてまいります。



実施後の声



食品ロスに対する意識が変わりました。ほかの友達も食品ロスの見方が変わりました。素晴らしいです。

「フードバンク」と聞いて、わたしたちにも何か出来たらいいなと思ったら、「スクールフードドライブ」があり、小学生にもできるんだと、とてもうれしくなりました。

食品ロスを減らすために自分ができることをやっていたいと思います。

日本だけでも食品ロスを減らしたら、世界にかかるエネルギーのムダも少し減ると思います。多くの人が食品ロスをなくそうと意識することによって未来に見える世界が今と変わって行くと思います。

新型コロナウイルスの影響で実施数が増えましたが、少ない中でも「食品ロスの実態を実際に立ち会っている人から聞いた経験になりました」「自分の家族に言ってみようと思った」「消費期限や賞味期限の違いを知ってよかった」「食品ロス削減のために自らできることはたくさんあると思う」と思っていました。「今回を期にボランティアをしてみたいと思います」など、着実に食品ロス削減の波を起せていると感じており、次年度も更に拡大実施できるように努めて参ります。

また、自分事として捉えるために、分かりやすく楽しい授業を目指しています。



ボランティアの声



コロナ禍で時間的余裕ができ、社会貢献活動を探していた中で2HKさんと出会いました。さっきまで陳列されていたパン(商品)が、閉店後にはゴミになり値がつけれない。どちらの時点でも食べ物のはずですが、この違和感はどうでしょう…。

「大量生産大量廃棄の直線的経済」から「持続可能な循環型経済」へ。消費者としての責任を意識することが、解決の第一歩と考えます。

阪本貴洋さん (30代自営業)

活動に参加して、食品ロスの原因の約半分は買わずや期限切れ等の家庭系だと知り、とても身近な問題だと感じました。
今SDGs達成に向けた企業の取り組み等をよく目にしますが、他人事ではなく自分事として捉え、普段の消費生活からロスをなくせよう心がけたいです。



大川沙織さん (大学4回生)



そのままでは捨てられる食べ物を必要とする人へ。「もったいない」の精神を形にしたフードバンクの活動に共鳴し参加しています。誰もが少なからず不安を抱えた暮らしを強いられる中、少しでもお腹を満たして心もホッとひと息つけるお手伝いになれば嬉しいです。

塩満久美子さん (50代主婦)

2HKに出会う前に、理事長の澤田さんに出会いました。とてもパワフルで愛溢れる人柄は今も変わりません。初めて子ども支援プロジェクトに参加したとき、食材を受け取った時の子どもたちの顔が浮かびました。ボランティアを通して、知らなかった世界を知ることが出来ます。まずは、知ることから。それが私たちに出来ることだと思います。

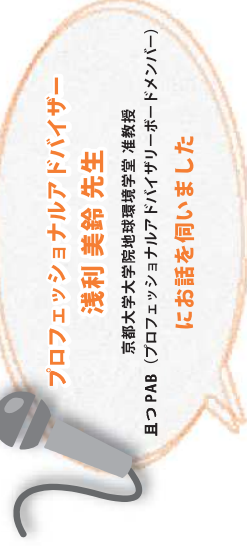


岸さゆりさん (20代教員)



私は食に関心があり大学では食品ロスについて学んでいます。フードバンクの活動に元々関心があったので、就活が終わり時間に余裕ができたのを機に2HKでボランティアを始めました。
実際に働いてみて授業や論文では知り得ない新しい新たな学びがあり充実しています。

三宅祥太郎さん (大学4回生)



Q 印象的な思い出はありますか？

A 一度、理事長の澤田さんとフードバンクの一連の活動にご一緒したことがあります。車の中で澤田さんのお話を聞きました。澤田さんの粘り強く、信念を持って活動を続ける姿がとても印象的でした。

Q 食品ロス問題についてのお考えをお聞かせください。

A 日本には無駄を生んでいるシステムがあります。企業は出す必要がない廃棄を出してしまっています。企業には更なる管理が求められるでしょうし、個人単位でも食品ロスを減らす協力者になることはできません。まだまだ出来ることはあると思います。2HKの活動を通して、食品ロスや貧困の問題を知ることが出来ます。そして、初心を忘れることなく、出来ることを続けていきたいです。

Q 2HKの今後についてメッセージをください。

A まず、感謝の気持ちがあります。勝派物流※が注目されていますが、それと同じくらい今後はフードバンクのような「福祉物流」が必要になると考えています。
2HKは、そのハブ的な存在として、社会を牽引して欲しいです。寄付や発信以外でもなにかお手伝いできることがあれば何でも言うてください。

Q 2HKを支援して下さっている方にメッセージをください。

A 行先に関りきりになるのではなく、みんなで力を持ち寄っていききたいです。これからも2HKへの支援を続けるだけでなく、ごんどん仲間を増やしていきたいでしょう。そして、私自身、2HKをもっと助けられる存在になりたいと考えています。是非、一緒に頑張ってください。

2021.10.24取材

※生産側から消費側へ向かうモノの流れとは逆方向の物流のことで、リサイクルなどを指すことが多い



浅利 美鈴 先生

京都府出身。京都大学大学院地球環境学堂 准教授。
「ごみ」が研究テーマ。京都大学のエコキャンパス化にも取り組む。また、「ひっくり！エコ100選」や「3R・低炭素社会検定」「ひっくりエコ発電所」「エコ〜るど京大」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく、環境教育や啓発活動・情報発信にも力を注いでいる。





■ 助成・寄附

- えんの会
 キョウキミカブシキガイシヤ
 サンケイデザイン株式会社
 一般社団法人 MUSTARD SEED クリスチャン教会 京都
 株式会社 ecommit
 株式会社ナベル
 株式会社京都放送
 株式会社博報堂食育等推進事務局
 京都トップスワイズメンズクラブ
 京都市
 京都府公立大学法人

■ 食品提供企業・団体

- 京都友の会西山方面
 公益財団法人 SOMPO 福祉財団
 公益財団法人社会貢献支援財団
 公益財団法人京都オムロン地域協力基金
 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
 公益財団法人京都地域創造基金
 社会福祉法人宇治市社会福祉協議会
 障がい者就労継続支援 A 型事業所口ワール
 弁護士法人伏見総合法律事務所
 個人の皆様
- 石井食品株式会社
 経済産業省 近畿経済産業局

(順不同・敬称略)

(順不同・敬称略)

■ フードドライブ協力企業・団体

- コープさの
 コープハリティ
 コープ山科新十条
 コープ祝園駅
 コープ城陽
 コープ龍崎石田
 コープ男山
 コープ桃山
 コープ二条駅
 精華町役場
 京都市右京区役所右京エコまちステーション
 京都市
 ローム株式会社
 株式会社パンナ
 株式会社京都放送 (KBS 京都)
 株式会社松風
- 株式会社島津製作所
 オムロン株式会社
 角井食品株式会社
 京阪ホールディングス株式会社
 明治ホールディングス株式会社
 株式会社松風
 一般財団法人日本非常食推進機構
 株式会社ロゾン
 株式会社 SCREEN ホールディングス
 イオンリテール株式会社
 イオン伏見プラザ店
- 株式会社大丸松坂屋百貨店
 株式会社島津製作所
 特定医療法人桃仁会病院付属診療所
 弁護士法人伏見総合法律事務所
 公益財団法人 京都 YWCA
 京都市立待風小学校
 京都華頂大学食物栄養学科
 学校法人京都産業大学
 洛和会ヘルスケアシステム
 下鴨地域ごみ減量推進会議
 元町地域ごみ減量推進会議
 ガストハウストウ・カサ
 京都友の会 西山方面
 京都府女性の船「ステップあけほの」京都支部
 一般社団法人 MUSTARD SEED クリスチャン教会 京都
 京都聖書教会

コストコホーセルジャパン株式会社 京都八幡倉庫店



ココロポラトラーズジャパン株式会社



三洋化成工業株式会社



ノク京都



京都生活協同組合



- アルフレッサファーマ株式会社
 スミセイ情報システム株式会社
 株式会社明治 京都工場
 松原牛乳 販売店
 内閣府
 NTTコミュニケーションズ株式会社
 JA 京都やましろ
 株式会社はたけのみかた
 京都ファミリー
 キューサイ株式会社
 ニッセイ商事株式会社
- 内閣府 迎賓館京都事務所
 株式会社天塩
 養命酒製造株式会社
 株式会社大気社
 公益財団法人社会貢献支援財団
 ソフトバンク株式会社
 IQVIA サービシズジャパン株式会社
 洛和会ヘルスケアシステム
 JFE エンジニアリング株式会社
 株式会社リーフ・パブリケーションズ
 株式会社クラダシ
 イートランド株式会社 西日本事業部
 関西事業所
 カルゲン製菓株式会社
 丸文株式会社
 他匿名企業4社と多くの個人の皆様

活動計算書

[税込] (単位: 円)

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

自 2020年12月 1日 至 2021年11月30日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	72,000	
賛助会員受取会費	3,000	75,000

【受取寄付金】

受取寄付金		5,769,049
-------	--	-----------

【受取助成金等】

受取助成金		9,734,643
-------	--	-----------

【その他収益】

受取 利息	1	
雑 収 益	38,850	38,851

経常収益 計

15,617,543

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	1,054,876	
法定福利費(事業)	27,626	
通 勤 費(事業)	60,930	
人材派遣費(事業)	500,390	
人件費計	1,643,822	

(その他経費)

業務委託費(事業)	165,000	
諸 謝 金(事業)	51,800	
食品購入費(事業)	5,261,213	
印刷製本費(事業)	98,782	
旅費交通費(事業)	75,230	
車 両 費(事業)	35,300	
燃 料 費(事業)	139,089	
高速道路代(事業)	98,640	
通信費(事業)	376,922	
消耗品 費(事業)	616,346	
荷造運搬費(事業)	1,502,454	
地代 家賃(事業)	1,212,000	
賃 借 料(事業)	40,261	
減価償却費(事業)	101,907	
保 險 料(事業)	330	
広告宣伝費(事業)	315,425	
支払手数料(事業)	63,920	
雑 費(事業)	8,650	

その他経費計

10,163,269

事業費 計

11,807,091

【管理費】

(人件費)

給料 手当	194,063	
法定福利費	27,626	
通 勤 費	11,590	
福利厚生費	20,535	
人材派遣費	278,540	
人件費計	532,354	

(その他経費)

印刷製本費	35,052	
業務委託費	264,000	
会 議 費	22,110	
通信費	260,500	
消耗品 費	390,006	
水道光熱費	30,076	
地代 家賃	564,610	
賃 借 料	16,182	
広告宣伝費	5,500	
減価償却費	165,064	
保 險 料	57,900	

活 動 計 算 書

【税込】(単位:円)

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

自 2020年12月 1日 至 2021年11月30日

諸 会 費	14,085	
事務用品費	73,100	
租 税 公 課	4,750	
支払手数料	118,004	
雑 費	29,700	
その他経費計	2,050,639	
管理費 計		2,582,993
経常費用 計		14,390,084
当期経常増減額		1,227,459 /
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		1,227,459
当期正味財産増減額		1,227,459
前期繰越正味財産額		6,189,586 /
次期繰越正味財産額		7,417,045 /

貸借対照表

認定NPO法人セカンドハーベスト京都
全事業所

【税込】(単位:円)
2021年11月30日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	27,347		
普通預金	7,495,580		
現金・預金計	7,522,927		
(棚卸資産)			
貯蔵品	100,000		
棚卸資産計	100,000		
流動資産合計		7,622,927	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	373,445		
有形固定資産計	373,445		
(投資その他の資産)			
差入保証金	66,000		
投資その他の資産計	66,000		
固定資産合計		439,445	
資産合計			8,062,372
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	621,095		
預り金	24,232		
流動負債合計		645,327	
負債合計			645,327
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		6,189,586	
当期正味財産増減額		1,227,459	
正味財産合計			7,417,045
負債及び正味財産合計			8,062,372

事業費の内訳（別紙）

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

2021年11月30日 現在

[税込] (単位:円)

科目	フードバンク 事業	食品ロス削減 啓発事業	子ども支援 プロジェクト	食のセーフ ティネット 事業	フード パントリー 事業	合計
(人件費)						
給料 手当(事業)	65,338	0			989,538	1,054,876
法定福利費(事業)	0	0			27,626	27,626
通勤費(事業)	9,460	0			51,470	60,930
人材派遣費(事業)	60,390	0			440,000	500,390
人件費計	135,188	0	0	0	1,508,634	1,643,822
(その他経費)	0	0			0	
業務委託費(事業)	0	0			165,000	165,000
諸謝金(事業)	51,800	0			0	51,800
食品購入費(事業)	638,830	0	4,354,724	7,860	259,799	5,261,213
印刷製本費(事業)	12,449	7,638	22,792	1,878	54,025	98,782
旅費交通費(事業)	10,950	5,120	59,160		0	75,230
車両費(事業)	35,300	0			0	35,300
燃料費(事業)	139,089	0			0	139,089
高速道路代(事業)	64,300	0			34,340	98,640
通信費(事業)	324,155	28,680	15,208	4,979	3,900	376,922
消耗品費(事業)	323,118	0	201,023	22,100	70,105	616,346
荷造運搬費(事業)	157,572	0	1,253,527	69,575	21,780	1,502,454
地代家賃(事業)	684,000	0	528,000		0	1,212,000
賃借料(事業)	35,391	0	600	520	3,750	40,261
減価償却費(事業)	101,907	0			0	101,907
保険料(事業)	0	0	330		0	330
広告宣伝費(事業)	309,925	0	5,500		0	315,425
支払手数料(事業)	54,460	0	5,885		3,575	63,920
雑費(事業)	550	0	7,300		800	8,650
その他経費計	2,943,796	41,438	6,454,049	106,912	617,074	10,163,269
合計	3,078,984	41,438	6,454,049	106,912	2,125,708	11,807,091

財務諸表の注記

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

2021年11月30日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2). 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、「施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」として注記しています。

(3). ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【会計方針の変更】

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

【税込】(単位:円)

内容	金額	算定方法
食品の提供	17,010,000	寄贈食品28,350kg×600円/1kgあたり
車両の提供	1,588,200	軽自動車レンタカーのマンスリー料金に12ヶ月を乗じた。
事務所の提供	455,000	ワンルームマンション周辺相場の料金に7ヶ月を乗じた。
合計	19,053,200	

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

【税込】(単位:円)

内容	金額	算定方法
ボランティア役務金額合計	1,781,237	延べ422名 稼働時間1,901時間 時間給937円で計算

【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は7,417,045円ですが、そのうち2,060,197円は翌期以降に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は5,356,848円です。

【税込】(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
ボランティア慰労用	520,000	0	0	520,000	公財) 社会貢献支援財団 使用しなかった分の返済義務は無い。残高は翌期以降に使用予定。
認定NPO取得助成	0	300,000	300,000	0	公財) SOMPO福祉財団
ささえあい支援金	0	100,000	100,000	0	京都市子ども若者はぐくみ局 ささえあい支援金 こども支援プロジェクト用
フードバンク活動等応援助成	660,000	330,000	990,000	0	社福) 中央共同募金会 こども支援プロジェクト用
一般助成	0	3,000,000	1,551,003	1,448,997	公財) 京都オムロン地域協力基金 こども支援プロジェクト用 残高は翌期以降に使用予定。
2021 (R3) 年度 ごみ減量モデル事業	0	125,000	33,800	91,200	公財) 京都市環境保全活動推進協会食品ロス削減のための出前授業。残高は翌期以降に使用予定。
合計	1,180,000	3,855,000	2,974,803	2,060,197	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
保冷庫 1	202,500			202,500	176,741	25,759
保冷庫 2	168,000			168,000	105,704	62,296
車載冷凍冷蔵庫	350,773			350,773	306,152	44,621
NASHDD	114,600			114,600	82,971	31,629
NECパソコン1台	246,564			246,564	200,334	46,230
MAUSEパソコン2台		260,656		260,656	97,746	162,910
差入保証金		66,000		66,000		66,000
合計	1,082,437	326,656	0	1,409,093	969,648	439,445

流動資産の貯蔵品について

全国共通百貨店商品券25万円分のうち15万円分を換金し通常会計に繰入、残額10万円分を貯蔵品として在庫している。

財 産 目 録

認定NPO法人セカンドハーベスト京都
全事業所

[税込] (単位: 円)
2021年11月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	27,347
一般現金	(27,347)
普通 預金	7,495,580
ゆうちょ銀行 (振替)	(3,445,493)
ゆうちょ銀行 (総合)	(179,134)
ゆうちょ銀行 (JANPIA)	(3,870,953)
現金・預金 計	<u>7,522,927</u>

(棚卸資産)

貯 蔵 品	<u>100,000</u>
棚卸資産 計	<u>100,000</u>

流動資産合計

7,622,927

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	<u>373,445</u>
有形固定資産 計	<u>373,445</u>

(投資その他の資産)

差入保証金	<u>66,000</u>
投資その他の資産 計	<u>66,000</u>

固定資産合計

439,445

資産合計

8,062,372

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	621,095
預 り 金	<u>24,232</u>

流動負債合計

645,327

負債合計

645,327

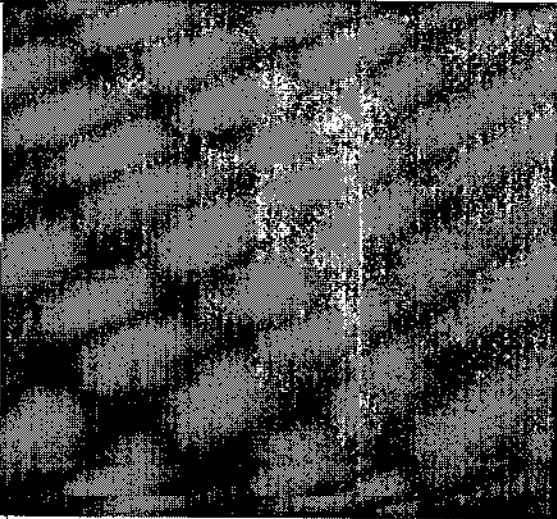
正味財産

7,417,045

前事業年度の年間役員名簿

2020年12月1日から2021年11月30日まで

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	澤田 政明		2020年12月1日から 2021年11月30日まで	報酬無し
理事	松本 浩之		2020年12月1日から 2021年11月30日まで	報酬無し
理事	井本 博之		2020年12月1日から 2021年11月30日まで	報酬無し
理事	田中 容子		2020年12月1日から 2021年11月30日まで	報酬無し
理事	神崎 哲		2020年12月1日から 2021年11月30日まで	報酬無し
監事	秋岡 安		2021年8月2日から 2021年11月30日まで	報酬無し
			2020年12月1日から 2021年11月30日まで	報酬無し

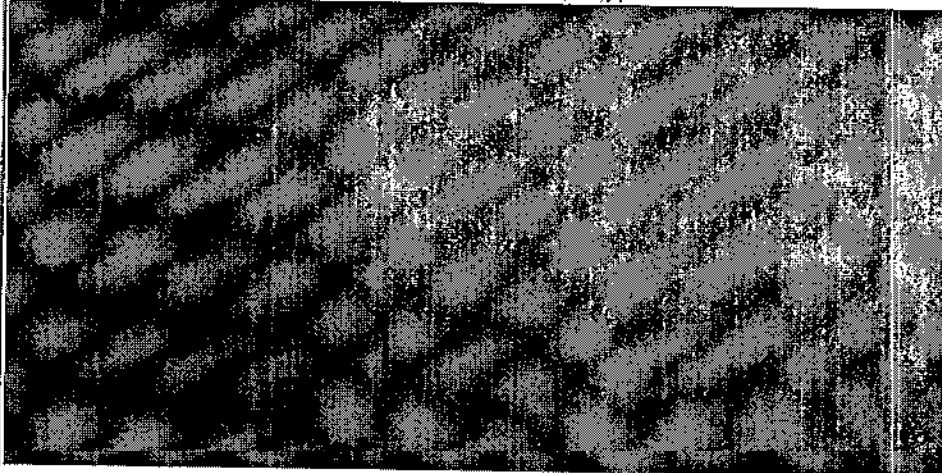
(備考)

- 1 「氏名」、「住所又は居所」、「就任期間」及び「報酬を受けた期間」は、全ての役員について記載する。
- 2 「氏名」、「住所又は居所」の欄には、京都市特定非営利活動促進法施行条例第3条第2項に掲げる書面（住民票等）によって証された氏名、住所又は居所を記載する。
- 3 「報酬を受けた期間」の欄には、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」と、それぞれ記載する。

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

2021年12月1日現在

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

氏名	住所又は居所
澤田 政明 松本 浩之 川原 弓子 井上 好幸 岩井 宏之 佐藤 龍子 前川 一朗 横井 英子 井本 博之 田中 容子	 A large rectangular area of the table is completely redacted with a dense black and white stippled pattern, obscuring the names and addresses of the employees listed in the adjacent column.

(備考)

- 1 前事業年度の末日現在における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載する。
- 2 10人以上であれば社員全員を記載する必要はない。